**研修メニューの概要　　　　　　　　NPO法人SONAE防災研究所**

地域住民のみならず、児童生徒等にも分かり易いように、防災知識をゲーム感覚で楽しみながら、体験習得できるように工夫した研修メニュー（講座）を提供します。

**１　地域住民**、**学校職員、行政職員、児童生徒**等、対象の「防災」「減災（備え）」を中心とした研修を実施し、地域防災にかかわる人材の育成を目指します。

**２　提供できる研修メニュー**

**(1)避難者収容をイメージする研修（HUG－S）**

①阪神淡路大震災後に静岡県が開発した防災ゲーム（HUG）を東日本大震災での実例を加えて改定した「仙台版HUG－S」で学びます。

②被災者を避難所へ収容する疑似体験ができます。

　　「避難所運営の担当者となったが、何をすればよいのか」との疑問を解決します。

地域の防災意識向上や防災リーダー研修等に最適です。（所要時間60分～90分）

**(2)避難所立ち上げイメージする研修（KIT－１）**

①避難所を開設する場面を想定したゲームです。

　　②災害の種類、状況、季節、時刻などによって避難者を受け入れるための準備活動が

変わります。限られた時間に何ができるかを考え、話し合う中で、運営委員や地域の一員としての立ち上げ活動がイメージできます。（所要時間60分～90分）

**(3)避難所運営活動班をイメージする研修（KIT－２）**

①避難所には衛生班、名簿班、食料物資班など6～8の活動班があります。

②それぞれの活動班が、どんな活動をし、連携するか明確にします。避難所で次々に起きる様々な出来事に素早く対応する訓練です。（所要時間60分～90分）

たとえば、「避難所内に下痢嘔吐の人が出ました！」

どの班とどの班が、何をすればいいのでしょうか？

**(4)災害発生時の緊急判断をイメージする研修（クロスロードゲーム）**

①京都大学で開発されたゲームです。

②たとえば、次のような設問が盛り込まれています。

・あなたは中学生、下校中、学校と自宅までのちょうどまん中に来た時、

大きな地震が発生しました。道路の近くの家がつぶれて、瓦が飛び散っています。

　あなたは　　　　・家に帰る　　→　YES　　・学校に戻る　→　NO

③参加者は「YES」か「NO」のカードを選びますが、その答えを選んだ理由を述べなければなりません。他の参加者はそれを聞くことで、多様な価値観や視点に出会えるゲームです。（所要時間60分～90分）

 **(5)災害時要支援者支援体制づくりアドバイス**

災害時要支援者支援体制づくりについて、具体的な実践事例を紹介し、災害に備える地域住民同士の助け合い活動の進め方を提案します。（所要時間60分～90分）

【講話の内容】

①災害時の要支援者について

②要支援者の把握の仕方

③支援者の確保の方法

④支援者の活動内容（日常の活動、災害時の支援）

⑤いっとき避難場所をベースにした支援づくりについて

**３　研修会実施費用（講師謝金）**

　(1)仙台市内の研修会

原則：1時間・・・・・・10,000円

　(2)宮城県内の研修会

原則：1時間・・・・・・15,000円＋交通費

　(3)宮城県外の研修会

原則：1時間・・・・・・20,000円＋交通費

※これはあくまでも原則です。講師謝金についてはご相談ください。

　　なお、どんな小さな研修会でもお手伝いします。

注：講師謝金は源泉徴収をせずに、法人口座に銀行振り込みでお支払い願います。

**お問い合わせ、お申込みは下記をご覧ください。**

**ホームページ：NPO法人SONAE防災研究所**